

ラノー®テープは、従来の農薬製剤とはまったく異なる発想から生まれた「非散布型製剤(黄色テープ)」です。テープ状の製剤を施設内の作物の付近に、定植直後から設置することにより、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)の増殖を長期間抑制します。



張るだけで、 コナジラミを抑える。

特 長

- テープを張るだけで長期間、増殖を抑えるので省力的です。
- 持殊製法のテープで、耐久性・耐光性に優れています。
- 天敵・花粉媒介昆虫との併用が可能です。
- 有効成分は昆虫成長制御剤「ピリプロキシフェン」です。
「ピリプロキシフェン」はコナジラミ類の成虫には殺虫活性を示さず、産卵された卵の孵化を抑える作用があります。
- テープの黄色はコナジラミ成虫を強く誘引するよう調整した色調です。

農林水産省登録 第19647号



施設栽培のコナジラミ防除に

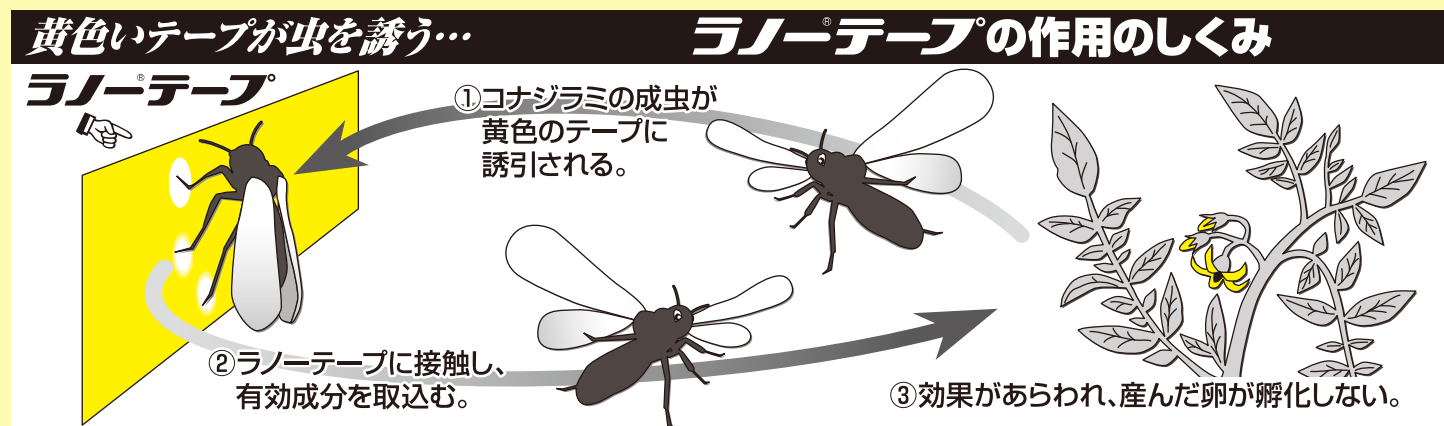
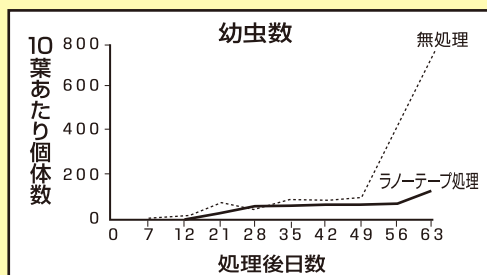
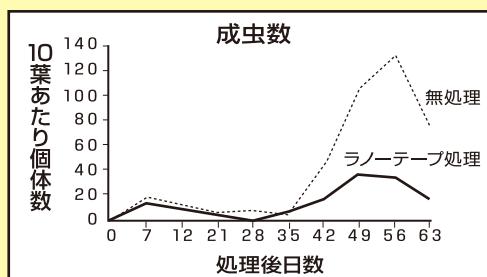
ラノー®テープ

®は住友化学(株)の登録商標

■適用害虫と使用方法

2021年12月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリプロキシフェンを含む 農薬の総使用回数		
野菜類 (施設栽培)	コナジラミ類	10～50m ² /10a	栽培期間中	1回	作物体の 付近に 設置する	きゅうり、トマト、なす及びメ ロンは4回以内(設置は1回以 内)、ピーマン及びししとうは 2回以内(設置は1回以内)、上 記以外の野菜類は1回		
豆類(種実) (施設栽培)		1回						
花き類・観葉植物 (施設栽培)		50m ² /10a				4回以内		
ポインセチア (施設栽培)		25～100m ² /10a						

1本: 10m²(5cm幅×200m長)●タバココナジラミ／トマトに対する
ハウス試験 (住友化学、1995年)

供試虫の発生: 中発生(処理直後に成虫を放飼)
 設置方法: 地上高150cmの位置に畝に沿って横断幕状に設置。
 テープ処理量: 約20m²/10a
 テープ設置日: 1995年4月20日
 区制: 1区45m² 反復なし
 ※処理区と無処理区の間は供試虫の移動を防ぐために寒冷紗で仕切った。

■使用方法

- 作物の定植直後又はコナジラミ類の発生初期から設置してください。
 - 1畝あたり1本のテープを設置します。
 - 畝上に横断幕のように張り渡して設置してください。
 - 設置する高さは、作物の直上部が最適です。
 - ・トマトのように生長の早い作物に使用する場合は、生長に応じてテープの設置高を上げると高い効果が得られます。
 - ・テープが作物の中に埋もれてしまうと効果が十分に発揮されません(テープは常に目立つ位置にある必要があります)。
- テープの設置高を変えることができない場合は、最初から誘引線の高さに設置してください。

〈使用上の注意事項〉

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性農薬をテープへ直接散布しないでください。
- 本剤は、多発時には効果が劣る場合があるので、定植直後または害虫の発生初期から設置してください。
- 蚕に長期間強い毒性があるので、以下の注意事項を厳守してください。
 - ・付近に桑園、養蚕施設がある場所では使用しないでください。
 - ・養蚕または桑生産を行っている農家は使用しないでください。
- 施設外、指定地域外での使用禁止。
- 使用済みテープの焼却禁止、全量回収。
 - ・使用済みの本剤は燃やさず、設置に使用した手袋および空き袋等も含めて全量をビニール袋等に集め、所定の回収方法に従い処分してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法及び使用後の処分方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。

